

令和2年度下水道事業決算状況概要【公共下水道事業セグメント（特定環境保全公共下水道事業含む）】

1 決算の概況

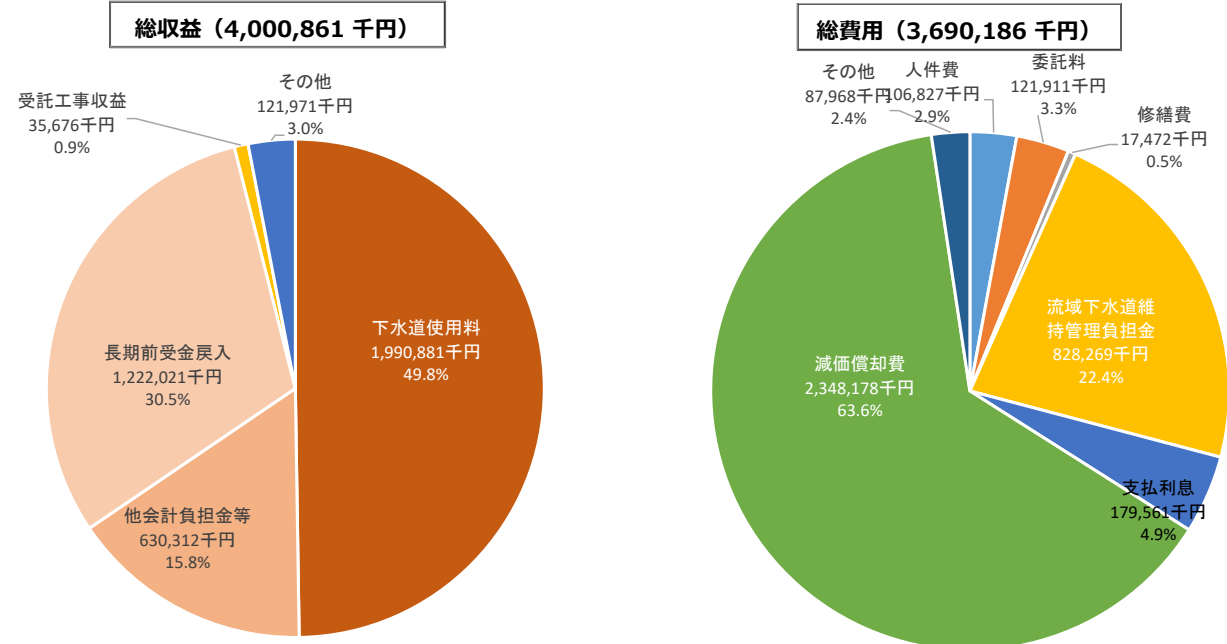
(1) 収益的収支

①総収益

豊川流域下水道維持管理負担金剰余金返還金が発生したことが主な要因となり、前年度と比較し、全体では**168,242千円(4.4%)の増加**でした。

②総費用

豊川流域下水道維持管理費等負担金の増加が主な要因となり、前年度と比較し、全体では**68,443千円(1.9%)の増加**でした。



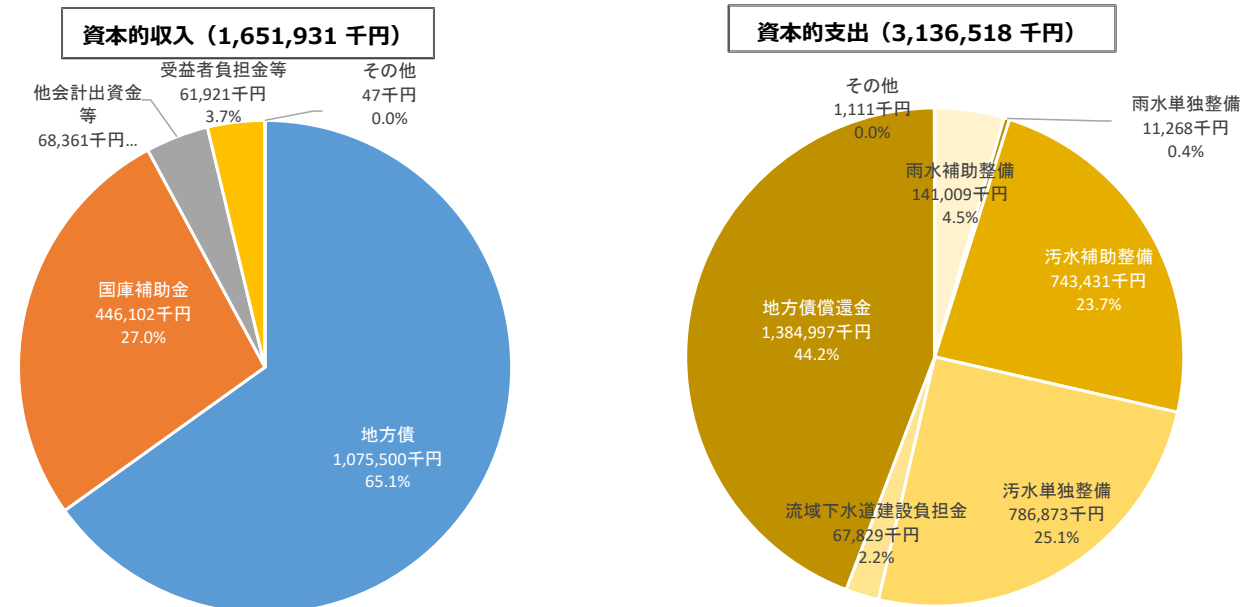
(2) 資本的収支

①資本的収入

地方債や補助金が減少したことが主な要因となり、前年度と比較し、全体では**258,650千円(13.5%)の減少**でした。

②資本的支出

汚水補助整備、地方債償還金が減少したことが主な要因となり、前年度と比較し、全体では**346,970千円(10.0%)の減少**でした。



2 事業の概要

項目	単位	R2年度	R元年度	H30年度	説明
人口普及率	%	84.58	83.62	83.17	行政区域内で下水道に接続している人口の割合(水洗便所設置済人口/行政区域内人口)
処理区域面積	ha	3,412	3,362	3,341	供用を開始した区域の面積
処理区域内人口	人	157,785	156,094	155,139	供用を開始した区域の人口
人口密度	人	46.2	46.4	46.4	処理区域面積1ヘクタールあたりの人口(処理区域内人口/処理区域面積)
布設延長(汚水)	km	918	906	892	汚水管の整備延長
布設延長(雨水)	km	93	92	92	雨水管の整備延長

3 経営指標

(1) 施設の効率性を示す指標

項目	単位	R2年度	R元年度	H30年度	説明
水洗化率	%	92.41	92.39	91.81	下水道の接続率
有収率	%	89.9	93.4	91.6	使用料徴収の対象となった汚水の処理割合

(2) 経営の効率性を示す指標

項目	単位	R2年度	R元年度	H30年度	説明
使用料単価	円	122.8	124.1	121.4	有収水量1m3当たりの使用料収入
汚水処理原価	円	137.4	138.5	124.4	有収水量1m3当たりの汚水処理費
経費回収率	%	89.4	89.6	97.6	汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収割合を示す指標。100%以上が必要
処理人口1人当たりの維持管理費(汚水)	円	6,557	5,763	6,079	汚水処理に要した1人当たりの維持管理費(管渠、ポンプ施設や流域下水道の維持管理費等)
処理人口1人当たりの資本費(汚水)	円	7,559	8,180	6,266	汚水処理に要した1人当たりの資本費(元利償還金等)
職員給与費対営業収支比率	%	4.60	5.58	4.41	営業収益に対する職員給与費(収益的支出)の割合

(3) 財政の健全性を示す指標

項目	単位	R2年度	R元年度	H30年度	説明
総収支比率	%	108.4	105.8	196.3	総収益と総費用の比率。100%未満であると収支が赤字
収益的収支比率	%	78.8	75.1	97.7	総収益と総費用に地方債償還金を加えた比率。100%未満であると収支が赤字
処理人口1人当たりの地方債残高	千円	136.64	140.10	145.40	1人当たりの地方債残高
処理人口1人当たりの基準内繰入金	千円	2.72	2.46	3.02	1人当たりの基準内繰入金額(雨水や分流式下水道の元利償還金等)
処理人口1人当たりの基準外繰入金	千円	1.70	2.38	3.32	1人当たりの基準外繰入金額(建設費負担金等)
不納欠損額	千円	1,891	1,548	2,049	使用料及び受益者負担金(分担金)の不納欠損額